

様式1

令和5年度 第3回学校運営協議会報告書

学校名	鳥取県立琴の浦高等特別支援学校
開催日時	令和6年2月20日(火) 午前10時から11時30分まで
会場	琴の浦高等特別支援学校 会議室

1 開会

田辺委員長（琴浦町副町長）、馬野委員（琴浦町商工会長）、
田中委員（鳥取大学准教授）、古林委員（琴浦町社会福祉協議会）
川口委員（元PTA副会長）、小谷委員（PTA副会長）
牧田学校長、瀧濱教頭、福田事務長（欠席：賀本委員）
〔参観〕特別支援教育課西村指導主事

2 学校長あいさつ

- ・現場実習も終わり、生徒の顔つきも変わってきた。
- ・活発な意見交換、提言をお願いします。

3 協議（進行：田辺委員長、瀧濱教頭）

- （1）本年度学校自己評価（最終評価）について
各分掌とも概ね当初目標を達成することができた。
（自己評価表を事前送付）
- （2）本年度の取組について
 - ① 学科部（山田学科部長）
専門教科スキルアップ事業、地域密着型職業教育推進等について
 - ② 進路部（日下部進路指導主事）
現場実習、就労促進セミナー、今年度進路状況について
 - ③ 保健部（瀧濱教頭）
学校安全総合支援事業について（被災地視察動画視聴）
 - ④ 総務部（牧田校長）
啓発・広報活動、学校紹介動画閲覧状況について
- （3）意見交換（○委員からの意見・質問 → 学校の回答）
○就労後のフォローアップを丁寧に行われており、定着率が高く、よい。
コロナ後、求人も増えている。よいマッチングを引き続きお願いしたい。

- 企業参観日は1日で何社くらいの来校があるのか。
→基本1回の参観日で1社を対応している。同日に2社対応する場合もある。
- 自己評価表のA評価が増えてきた。コロナ禍による活動制限もなくなり、円熟期に入ってきたのではないか。
- 働きやすい職場づくりの項目がA評価になることが望ましい。
→働き方改革については、本年度は教職員定数減のため、時間外業務の削減等、難しい部分があった。時間外業務を削減しながら、教育内容の質を保つことが課題である。

(4) 令和6年度学校教育目標について

基本的な方針は継続していきたい。学校研究で協働性を高めることに取り組んでいるが、教職員の協働性を高めることも大事である。リーダーシップとフォロワーシップ、双方がバランス良く発揮されている状態が理想である。働き方改革にもつながっていく。

(5) 学校予算について

- ① 令和5年度執行状況について・・・別紙にて説明
- ② 令和6年度予算について・・・別紙にて説明

(6) 意見交換

- 防災教育では「学校が避難所になった場合」についての学習は行ったか。
→体験型講演会の中で扱った。避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを避難所運営ゲーム（HUG）を通し、模擬体験した。
防災教育は引き続き取り組んでいく。
- 来年度予算については要求通りの査定となっているか。
→査定が出ている。
- 充実した学校運営がなされていると感じる。生徒の目線で各活動が行われている。
- 生徒数が少なくなっていることは残念。学校 Facebook の閲覧が楽しみである。これからも続けてほしい。

4 その他 次年度学校運営協議会について

次年度についても3回実施の予定。運営協議会以外の行事の案内をしていくので、普段の生徒の姿をいろいろな場面で参観していただきたい。